

尾瀬ヶ原・尾瀬沼散策

2016.8.18～20日 Nさんと

「夏が来れば思い出す、はるかな尾瀬」昔何度か口ずさんだ歌です。それほど尾瀬は有名な所ですが私は歩いた事はありませんでした。日本百名山挑戦中に鳩待峠から至仏山を往復登山、後日尾瀬御池から燧岳を往復登山した時に両方の山頂から尾瀬ヶ原・尾瀬沼を見下ろしましたが。山友達からは尾瀬を歩いていない事を馬鹿にされたりしました。「尾瀬は75歳になっても歩ける所だからそれまで取って置くだけ」と苦しい？言い訳をしてきましたがとうとうチャンスがやって来ました。山友達で日本300名山挑戦中のNさんが（彼は残り14座になりました）燧岳と至仏山を登るので行かないか？と誘われたので同行を決断しました。前夜は20時までに尾瀬戸倉着、私は尾瀬ヶ原歩きで登山はしない条件付きで。

8/18 (木) 安曇野 I C 16:10～ (Nさんの車で、高速道・沼田 I C 経由)

20:00 尾瀬戸倉 P (車中泊)

8/19 (金、曇れ一時小雨) 4:30～ (タクシー) 4:50 大清水 5:00～

7:45 尾瀬沼ビジターセンター (見物) 8:25～10:25 見晴新道分岐～

10:40 下田代十字路 (昼) 11:20～12:45 三条の滝 13:00～13:55

元湯山荘 14:15～14:50 東電小屋 (泊)

8/20 (土、曇りのち小雨のち晴れのち雨) 6:50～7:40 中田代交差点

8:05～8:35 竜宮小屋 8:40～9:50 山の鼻ビジターセンター (見物)

10:25~11:25 鳩待峠（昼）14:00~（バスで尾瀬戸倉P、ささの湯で入浴・夕食、高速道経由）20:00 安曇野IC~20:30 帰宅。

3:30に起床する。8人乗りのワンボックス車なので車内が広くて2人でユックリ寝られた。彼は300名山挑戦中は全て道の駅や登山口で車中泊である。

4:30に予約したタクシーに乗って大清水へ。此处にも大きな駐車場がある。

此处からは土・日は5:00から30分おきに一ノ瀬まで低公害車が運行されているが今日は金曜日なので始発は7:30。従って3KMを歩いたが車道なので歩き易かった。

三平峠



尾瀬沼案内版



三平峠~沼山峠~七入までは会津（沼田）街道と呼ばれて沼田城主・真田信幸（之）によって1590年頃に上州と会津を結ぶ街道として整備されて、尾瀬湖畔には荷物交換所も設けられたとの事。沼田ICを降りたら「真田丸」の看板が多かった訳だ。そんな歴史の道を尾瀬沼目指して歩く。

尾瀬沼と燧岳



尾瀬沼ビジターセンター内部



ビジターセンターは開館時間の関係で入館できないと思っていたが、何と 7 : 30 から開館していて見学出来た。お蔭でこの先尾瀬ヶ原の花などの予備知識が入手できて良かった。(山ノ鼻のビジターセンターも 7 : 30 から開館で利用者のニーズに応えていて好感が持てた。お役所意識が無くて良い) 此处で燧岳登山に向かう Nさんと別れる。私は尾瀬沼北回りコースで下田代(見晴)十字路へ。この区間が尾瀬では一番歩かれない箇所を感じだったが、それでもすれ違う人は述べ 20 人位いた。見晴十字路は山小屋が 6 軒ある活気のある所だった。無料休憩所のテーブルで抜きつ抜かれつした埼玉・東京の女性 2 名と早昼を食べる。尾瀬にはこうした無料休憩所やベンチがアチコチにあって良い。訪れる人が多いせいもあるかもだが。温泉小屋方面に歩き出したら雨がパラツイテ来る。慌てて雨具を上下着込むがすぐに止む。暑いので脱ぐ事にする。木道を花を見ながら歩くと温泉小屋と元湯山荘に着く。立派な気象観測所も建っている。此处から先は三条の滝に向かう人がほとんどで歩く人も少なくなる。

三条の滝



道もアップダウンのあるいわゆる登山道
ポクなる。やっと登山の感じがする。三
条の滝の展望台からは豪快に流れ落ちる
滝の全容が見られる。見応えのある名瀑
である。この区間ですれ違ったのは延べ
20人位だった。早朝からの歩きと暑さ
で元湯山荘で缶ビール 500MLを飲んで
休む。此处からはほぼ平らな木道歩きに
なる。

案内板



元湯山荘で休憩



景鶴山の麓にポツンと1軒建つ東電小屋に早く到着する。相部屋組は2階建て
の別館になる。2段ベットが5つある部屋が5つあった。我が5号室は男の単

独行3人でスキズキしていて良かった。とりあえず風呂に入って（石鹸等は使えないが）小屋前でユックリビール・コーヒーを飲んで過ごす。人工内耳が汗で不具合になってしまい会話が出来ないので久しぶりにユックリ過ごせた。夕食は今まで多くの山小屋で食べたが、此処の食事が一番良かった。（基本的に山小屋で美味しい物を食べたいなどと言う最近の動向には反対だが）ご飯が美味しかったし、テンプラも揚げたてで暖かくて美味しいし、こんにゃくの刺身には本山葵が揃って出された。驚きだった。勿論朝食も美味しかった。18:30から本館2階で尾瀬のビデオ上映があり聞きに行くが聞こえが悪くてほとんど理解できなかつた。寝る前に気が付いたがザックの中には予備の機械（古い機械）が入れてあったのを思い出して装着する。聞こえが戻った。何でもっと早く気が付かなかつたのか？自分が情けなくなつた。結局予備の機械で助かつた。

ヨッピー吊橋



尾瀬名物歩荷



8/20 は残り全部の木道を歩こうと思っていたが、途中で小雨が降り出し雨具

を上下着る。今日至仏山に登るNさんは昨夜 弥四郎小屋に泊まって 14 時に鳩待峠で合流する約束になっている。下田代交差路付近ですれ違おうと思ってコーヒーを飲んで休憩したが彼はすでに行ってしまったようだ。彼は足が速いし、雨降りでは休憩もせずに歩けば 1 2 時頃には鳩待峠に下山するのではないかと推測する。従って竜宮小屋で引き返す事にする。尾瀬ヶ原全般で木道脇に沢山咲いていたのは、イワショウブ・アキノキリンソウ・ウメバチソウ・サワギキョウ・オゼミズキク・エゾリンドウ・ヤマトリカブト・オゼアザミ・ミヤマワレモコウである。オゼコウホネは一輪のみしか見られなかった、ヒツジクサは時間的にか蕾は沢山あったがとうとう花は見られなかった。(午後 2 時頃の天気が良い時に咲くとのことだが) 尾瀬は水芭蕉とニッコウキスゲの咲く時期と紅葉期が人気で、8 月は花が少ないので訪れる人が少ないとの事だが、木道脇には上記の 10 種類などが沢山咲いていて私は満足しました。又燧岳・至仏山を見上げるのも良かったです。

山の鼻ビジターセンター



その内部



さて山の鼻ビジターセンターを見学してから鳩待峠への登りは土曜日とあって沢山の観光客・ハイカーとすれ違いました。途中熊出没と言う事で10人ほどで警戒していたけど、あんなに沢山人が歩いていれば熊も近づくかないと思うのだが。予定より早く鳩待峠に到着してしまった。ビールを飲んだり、昼飯食べたりでNさんの下山を待ったが結局彼は約束の時間2時少し前に雨の中を下山してきた。山頂は天気が良くて大展望をユックリ眺めていたとの事だ。なお尾瀬で咲いていた花は次号に掲載します。

鳩待峠

